

# 平成24年度「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」実績報告書

## 1. 事業名称

デニム・ジーンズクリエイター養成基盤整備のための教育プログラム開発と実証

## 2. 事業実施期間

委託を受けた日(平成24年7月31日)～平成25年3月14日

## 3. 産学官連携コンソーシアム又は職域プロジェクトの別

職域プロジェクト

### 産学官連携コンソーシアム又は職域プロジェクトの名称

デニム・ジーンズクリエイター養成プロジェクト

### 関係するコンソーシアムの名称(職域プロジェクトのみ記入)

クリエイティブ分野産学コンソーシアム

## 4. 分野名

④クリエイティブ(コンテンツ、デザイン・ファッション等)

「その他」分野名

## 5. 代表機関

### ■ 代表法人

法人名	学校法人第一平田学園
理事長名	平田 眞一
学校名	中国デザイン専門学校
所在地	〒 700-0842 岡山県岡山市北区船頭町12

### ■ 事業責任者

省略

### ■ 事務担当者(文部科学省との連絡担当者)

省略

## 6. 産学官連携コンソーシアム又は職域プロジェクトの構成員・構成機関等

### (1) 構成機関

	構成機関(学校・団体・機関等)の名称	役割等	都道府県名
1	学校法人第一平田学園 中国デザイン専門学校	実施・調査・開発検証	岡山県
2	学校法人西野学園	実施	北海道
3	学校法人山本学園 専門学校山形V.カレッジ	実施	山形県
4	倉敷ファッションカレッジ	実施・調査・開発検証	岡山県
5	株式会社ベティスミス	実施	岡山県
6	カイハラ株式会社	実施・開発検証	広島県
7	株式会社ビッグジョン	実施	岡山県
8	有限会社繊維流通研究会	実施・調査・開発検証	大阪府
9	日本ジーンズメーカー協議会	実施・開発検証	岡山県
10	岡山県アパレル工業組合	実施	岡山県
11	有限会社ザ・ライスマウンド	実施・調査・開発検証	東京都

### (2) 協力者等

	氏名	所属・職名	役割等	都道府県名
	加藤 清次	倉敷商工会議所 専務理事	助言	岡山県
	石井 泰博	児島商工会議所 専務理事	助言	岡山県
	北川 敏博	株式会社ジョンブル 代表取締役	助言	岡山県
	平田 俊清	有限会社キャピタル 代表取締役	助言	岡山県
	尾崎 茂	尾崎商事株式会社 代表取締役社長	助言	岡山県
	藤井 大児	岡山大学 社会文化科学研究科 准教授	助言	岡山県
	川合 直	国際ファッション産学推進機構 (クリエイティブ分野産学コンソーシアム)	助言	東京都
	飯塚 正成	(一社)全国専門学校情報教育協会	助言・協力	東京都

(3) 産学官連携コンソーシアムの下部組織（設置した場合に記載。職域プロジェクトの場合は記入不要）

名称( )			
氏名	所属・職名	役割等	都道府県名
名称( )			
名称( )			

## 7. 事業の内容等

### (1) 事業の概要

日本のファッション産業は、繊維・染色加工・織物・縫製・アパレル・流通・小売等の工程の機能分化が進んだため、各工程の強みが全体の強みとして活かされない構造になっている。しかしながら、各工程では、高品質の製品を生産する優れた技術を持ち、国内に大きな市場を有している。また、世界的に評価の高い繊維素材生産技術やデザイナーが多数存在するなど、潜在的競争力は高いと言われている産業である。これからの日本のファッション産業を担う人材は、多段階の工程のそれぞれの強みを全体の強みに結びつけ、日本のブランド力を構築できる人材が求められている。

本校のある岡山県は、デニム・ジーンズの生産地として繊維・染色加工・織物・縫製・アパレル・流通・小売等の産業が集積する地域である。各工程の強みを活かしたブランド力や構造の改革、ビジネスの構築が展開されている。

本事業は、デニム・ジーンズクリエイターの教育プログラム開発として、日本のファッション産業の中核的専門人材養成のための新しい学習システムの基盤整備を推進することを目的とした。特に産業界が求めるマーケティングやマネジメントの知識、技術をグローバルに展開できるクリエイターの養成のための教育プログラムを開発した。また、教育プログラムの短期化、モジュール化に取り組み、社会人の学び直しや異業種からの人材シフトに対応したアクセスし易い学習ユニットの積上げ方式の開発を検討した。学習者の達成度評価の評価指標を整備し、学校間の単位互換への活用や学習ユニットの積上げによる正規課程の修了、履修証明制度への活用を促進する取り組みを実施した。

### (2) 事業の内容について（産学官連携コンソーシアム又は職域プロジェクトにおける具体的な取組内容）

本事業では、昨年度の取り組みで明らかとなった専門学校の育成すべき人材像、教育領域、人材育成の課題、求められる人材の必要能力、資質を踏まえたモデル・カリキュラム基準をもとに履修科目のモデルと教育プログラムの開発を行い、達成度評価の整備に向け、その具体化を推進した。

ファッション業界の求めるマーケティングやマネジメントの知識・技術を有し、グローバルに展開できる人材育成のため、技術力があり先進的な取り組みにより、世界から評価を受けているデニム・ジーンズを題材として、これからのクリエイターに必要な教育プログラムを整備した。開発する教育プログラムは、就業者や社会人のアクセスしやすい学習環境の整備を考慮し、短期教育プログラムの学習ユニットへ対応するものを目指した。

学習者の達成度を評価する評価指標の検討を行い、産学が連携してその強化の在り方を協議した。

上記、取り組みを通して、デニム・ジーンズクリエイター育成の新たな学習システムの基盤整備を推進した。更に短期教育プログラムの学習ユニット積上げ方式による正規課程の修了や学校間における単位互換の仕組み、履修証明書等の制度のあり方について検討し、新しい学習システムの基盤整備に継続的に取り組んだ。

具体的な取り組みは以下のとおり

#### ■調査

##### ・教育実態調査

専門学校のファッションクリエイターの教育カリキュラム調査を行い、産業界の求めるマーケティングやマネジメントに関する教育の実態を調査する。

方法 アンケート調査(対象:服飾系専門学校 179校)

対象 専門学校 179校

実施時期 平成25年1月

回答 18校(10.1%)

#### ■開発

##### ・履修科目のモデル／教育カリキュラム開発

##### ・デニム・ジーンズクリエイターのマーケティング実践教材開発

##### ・デニム・ジーンズクリエイターのマネジメント実践教材開発

※開発した教育カリキュラム、教材の検証については、次年度に検証講座を実施し、実証を行うこととした。

■ 検討事項

- ・学習者の達成度評価の評価指標について検討、協議した。
- ・就業後も含め、生涯にわたってキャリアパスが描けるよう、「学習ユニット積上げ方式」によるアクセスしやすい学習環境を整備し、就業した社会人に対しても新たに必要な知識・技術等を更新する機会の充実を図る仕組みを検討した。具体的には、学修成果が活かせるよう、学校の正規課程への位置づけや、学校間の単位互換、短期プログラムの履修証明等などの取り組みについて検討・協議した。

■ 成果の普及

本事業における成果は、報告書として取りまとめ、全国の関連分野の学科を設置する専門学校179校、関連企業・団体198社に配布しその普及と活用を推進した。

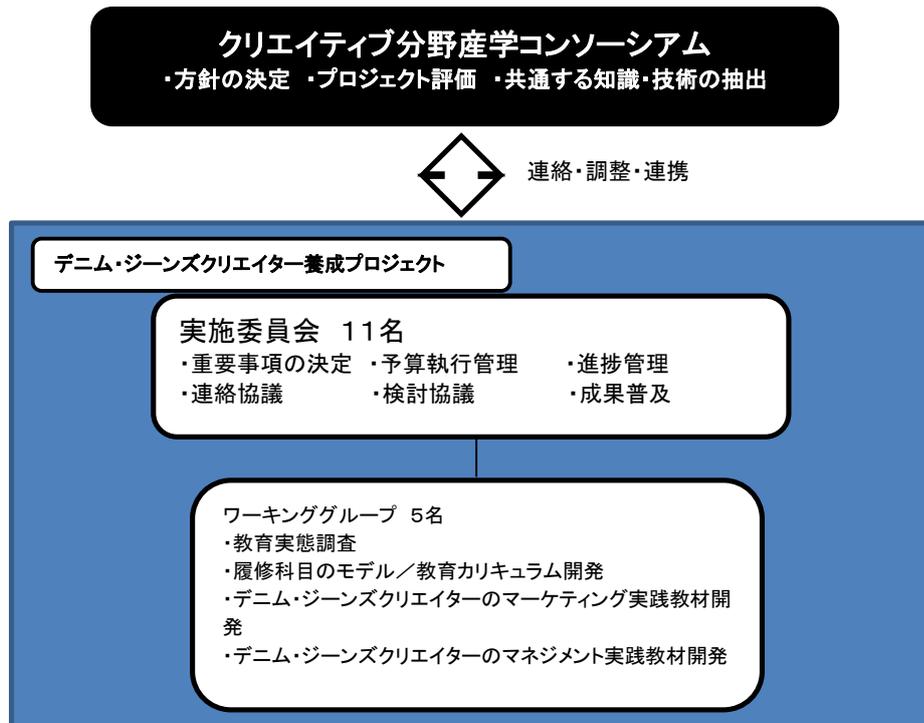
専門学校関係者・業界企業、団体を対象に開催する成果報告会を開催し、その普及を図った。

事業の成果をより多くの人に活用いただくため、Web上のホームページに本事業の取り組み、成果を公開し、その普及を推進した。

(3) 事業実績について（連携体制、工程、普及方策、計画時に設定した活動指標(アウトプット)・成果実績(アウトカム)の評価等)

実施委員会は、専門学校4校、企業5社、関連団体2団体の合計11名で組織し、プロジェクトの方針の策定、WGの進捗管理、検討事項の協議、成果の普及等を行った。デニム・ジーンズクリエイターの中核的専門人材養成の新たな学習システムの基盤整備について協議し、今後の方向性を策定した。

ワーキンググループは、専門学校2校、企業4社の6名で組織し、調査、教育プログラムの開発及び実証検証を担当した。



### ■工程およびスケジュール

内容	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	備考
実施委員会					○				○		2回	
ワーキンググループ					○				○		2回	
教育実態調査					←→							
履修科目のモデル開発					←→							
教育カリキュラム開発					←→							
マーケティング実践教材開発					←→							
マネジメント実践教材開発					←→							
成果報告会									○		1回	

### ■普及方策

本事業における成果は、報告書として取りまとめ、全国の関連分野の学科を設置する専門学校179校、関連企業・団体198社に配布しその普及と活用を推進した。

専門学校関係者・業界企業、団体を対象に成果報告会を開催し、その普及を図った。

事業の成果をより多くの人に活用いただくため、Web上のホームページに本事業の取り組み、成果を公開し、その普及を推進した。

### ■計画時に設定した活動指標

- 1 調査 対象数 179校 回収率 10.1%以上
- 2 教材開発 2科目
- 3 協力者、協力機関数  
協力者 3名、協力機関 2団体
- 4 成果報告会への参加数の指標  
専門学校関係者 10名以上、IT関連企業・団体 2名以上

### ■成果実績

本事業の目標は、デニム・ジーンズクリエイターが産業界が求める知識・技術・能力を学習するための、履修科目編成及び教育プログラムの整備を行い、中核的専門人材の学習システムの基盤整備を推進することである。

本事業の成果物は以下のとおり

- ・履修科目モデル／教育カリキュラム
- ・デニム・ジーンズクリエイターのマーケティング実践教材
- ・デニム・ジーンズクリエイターのマネジメント実践教材
- ・事業報告書

### (4) 事業終了後の方針について(継続性、発展性 等)

- ・本年度成果をもとに次年度は実証検証を行い、カリキュラム・教材の精査を図る。また、本校教育プログラムとして活用する。
- ・業界団体等の協力のもと、デニム・ジーンズクリエイターの育成プログラムの導入をする専門学校数の拡大を推進する。
- ・グローバル化への対応、特に東アジアの市場に向けた人材の育成が急務であることから、教育プログラムの整備を推進する。
- ・整備した教育プログラム等は、多くの服飾系専門学校で活用させるよう普及活動を行う。
- ・企業との連携強化を図り、継続的な教育プログラム整備、「学習ユニット積上げ方式」によるアクセスしやすい学習環境の構築やジョブカード制度との連携に向けた基盤整備を推進する。また、開発した教育プログラム等が社会的に認知されるため、業界団体との更なる連携により第三者評価の体制整備を検討・協議する。